

# 地域科学技術振興関連事業の変遷

## 第1期科学技術基本計画(平成8~12年度)

- 科学技術に対する理解の増進、基礎的・先導的な研究開発の推進、科学技術関連施設の整備に対する支援の拡充
- 産学官の研究開発機関が参加する制度の整備・拡充、コーディネート活動の強化
- 公設試験研究機関への支援

## 第2期科学技術基本計画(平成13~17年度)

### —地域における科学技術振興のための環境整備—

- 地域における「知的クラスター」の形成
  - ◇「知的クラスター」とは、地域のイニシアティブの下で、地域において独自の研究開発テーマとポテンシャルを有する公的研究機関等を核とし、地域内外から企業等も参画して構成される技術革新システムをいう。
  - ◇具体的には、人的ネットワークや共同研究体制が形成されることにより、核をなす公的研究機関等の有する独自の技術シーズと企業の実用化ニーズが相互に刺激しつつ連鎖的に技術革新とこれに伴う新産業創出が起こるシステムである。このようなシステムを有する拠点を発展させることにより、世界水準での技術革新の展開が可能であり、国としてもその構築を促進することが必要である。

## 第3期科学技術基本計画(平成18~22年度)

### —地域イノベーション・システムの構築と活力ある地域づくり—

- 地域クラスターの形成
  - ◇地域クラスターの形成には、産学官連携による研究開発だけでなく、金融の円滑化、創業支援、市場環境整備、協調的ネットワーク構築などの様々な活動が必要であり、地域の戦略的なイニシアティブや関係機関の連携の下で長期的な取組を進める。
  - ◇国は、地域のイニシアティブの下で行われているクラスター形成活動への競争的な支援を引き続き行う。
  - ◇その際、クラスター形成の進捗状況に応じ、各地域の国際優位性を評価し、世界レベルのクラスターとして発展可能な地域に重点的な支援を行うとともに、小規模でも地域の特色を活かした強みをもつクラスターを各地に育成する。

## 第4期科学技術基本計画(平成23~27年度)

### —地域イノベーションシステムの構築—

- 地域がその強みや特性を活かして、自立的に科学技術イノベーション活動を展開できる仕組みを構築する。
- 地域が主体的に策定する構想のうち優れたものについて、研究段階から事業化に至るまで連続的な展開ができるよう、関係府省の施策を総動員して支援するシステムを構築する。
  - 優れた成果をあげている地域クラスターに対して、研究開発の推進に加えて、研究開発におけるネットワークの形成、人材養成及び確保、知的財産活動等に関する重点的な支援を行う。
  - 被災地域等を中心として、地方公共団体、大学、公的研究機関、産業界等と連携し、特区制度も活用しつつ、官民の関連研究機関が集積した新たな研究開発イノベーションの国際的拠点等の形成について検討する。
  - 被災地域がそれぞれの特色を活かして飛躍的に発展することができるよう、全国の大学等の知を結集して研究開発等によって新たな産業の創成を目指す取組を推進する。
  - 地域における研究開発やマネジメント、産学官連携や知的財産活動の調整を担う人材の養成及び確保を支援する。また、国は、大学や公的研究機関が、人材養成や産学官連携、知的財産活動において、地域貢献機能を強化する取組を支援する。

## 知的クラスター創成事業(第I期)(平成14~20年度)

- 地方自治体の主体性を重視し、知的創造の拠点たる大学、公的研究機関等を核とした、関連研究機関、研究開発型企業等による国際的な競争力のある技術革新のための集積(知的クラスター)の創成を目指す。知的クラスター創成事業(第I期)は、その「育成段階」における事業となる。

## 知的クラスター創成事業(第II期)(平成19~21年度)

- 「知的クラスター創成事業(第I期)」の成果等を踏まえ、「選択と集中」の視点に立ち、世界レベルのクラスター形成を強力に推進することを目指す。

## 知的クラスター創成事業(グローバル拠点育成型)(平成21年度)

- 地域産業の競争力強化や新産業創出等を目指して産学官連携活動等が行われてきた地域において、地域の自立化を促進しつつ、国際的に強み・特徴のある研究ポテンシャルや技術的にコアとなるシーズを活かし、グローバルな展開を図ることにより、国際競争力を持った地域クラスターの育成を推進することを目指す。

## 地域イノベーションクラスタープログラム(平成22年度)

- 優れた研究ポテンシャルを有する地域の大学等を核とした産学官共同研究等を実施し、産学官の網の目のようなネットワークの構築により、イノベーションを持続的に創出するクラスターの形成を図る。
- これまでクラスター形成に向けた取組実績がある地域を対象に、国際競争力を持ったクラスター形成を目指すグローバル型と、小規模でも地域の特色を活かした強みを持つクラスター形成を目指す都市エリア型を選定。

## 地域イノベーション戦略支援プログラム(平成23年度~)

- 文部科学省、経済産業省、農林水産省及び総務省において、地域イノベーションの創出に向けた主体的かつ優れた構想を持つ地域を「地域イノベーション戦略推進地域」として共同で選定。長期的な視点に立った新たな地域イノベーションの創出に向けて、それぞれの地域のポテンシャルに応じて、「国際競争力強化地域」又は「研究機能・産業集積高度化地域」のどちらかに選定。
- 選定された地域のうち、特に優れた戦略を有する地域に対しては、関係府省の施策を総動員して、大学における基礎研究から企業における事業化までを切れ目なく支援し、総合的かつ効果的に地域イノベーション戦略の実現を図る。

### <グローバル型>(平成23年度継続事業)

- 産学官連携による新技術シーズ創出や実用化につながる研究開発までの一体的な推進、国内外の他地域との連携によるクラスターの広域化など幅広い活動を戦略的に展開することにより、世界中からヒト・モノ・カネを惹きつけ、世界を相手に勝負できる世界レベルのクラスターを形成することを目的とする。

### <都市エリア型>(平成23年度継続事業)

- 大学等の「知」を活用して新技術シーズを創出し自立的・継続的な産学官連携基盤を構築することにより、研究開発型の地域産業の育成を図り、小規模でも地域の特色を活かした強みを持つクラスターを形成することを目指す。

## 都市エリア産学官連携促進事業(平成14年~21年度)

- 地域の個性発揮を重視し、大学等の「知恵」を活用して新技術シーズを生み出し、新規事業等の創出、研究開発型の地域産業の育成等を図るとともに、自立的かつ継続的な産学官連携基盤の構築を目指す。